

「港湾部門女性技官活躍推進勉強会」を開催しました

北海道開発局 港湾空港部 港湾建設課

北海道開発局では、女性技官にとって魅力ある働きやすい職場環境の実現を目指して、港湾・空港・漁港の工事や調査・設計などの業務に従事している港湾部門の女性技官を対象に「港湾部門女性技官活躍推進勉強会」を毎年開催しています。

今年度は、10月13日(木)～14日(金)の2日間で開催し、開発局女性技官10名、札幌市内の建設コンサルタント会社に勤務する女性技術職員8名の計18名に参加いただきました。今回は、1日目に参加者による意見交換会(TKP札幌駅カンファレンスセンター)、2日目に小樽港内視察や第3ふ頭岸壁工事現場、小樽みなと資料館の見学を行いました。

意見交換会は、北海道開発局 原田港湾建設課長の開会挨拶から始まり、現在の職場を選んだ理由や職場環境、仕事のやりがい等について参加者から報告いただき、ディスカッションを行いました。



意見交換会の開催状況

2日目は、小樽港の見学で、大型クルーズ船の寄港に対応するための岸壁改良整備を行っている、小樽港第3埠頭岸壁(-10m)の工事を見学いただきました。

実際に作業している建設現場を見ながら、参加者と現場施工者の他、工事を担当する小樽港湾事務所第一工務課の鈴木技官も参加し、意見交換を行うなど、活発に交流していました。



-10m岸壁工事現場視察の様子

小樽港湾事務所第一工務課の大柏技官の説明による港内視察(港湾業務艇乗船)では、海上から小樽港の各埠頭の役割や取扱い貨物、また、土木遺産にも登録される歴史的建造物の北防波堤について説明をいただきました。



港内視察の様子

資料館では、小樽港湾事務所初代所長の廣井勇や2代目所長の伊藤長右衛門の功績、現場で間近に見てきた北防波堤のスローピングブロック構造、小樽港斜路式ケーソン製作ヤード等について、第1工務課 安村技官に模型等を活用してわかりやすく説明いただきました。



おたるみなと資料館見学の様子

今回の勉強会について、参加者からは「女性技術者の人数や職場環境について他社との違いを知ることが出来た」、「出産育児等の支援制度について知ることが出来て良かった」、「普段、職場外の女性技術者との交流する機会がなかったため、このような会に参加できて嬉しい」という意見がありました。

今後も魅力ある働きやすい職場環境の実現を目指して、「港湾部門女性技官活躍推進勉強会」を継続的に開催していく予定です。